

もったいないについて

2年1組 梅 華音

1. はじめに

日本にはもったいないという言葉がある。日本人は食べ物を残したときもったいないと感じるが、外国の人々は食べ物を残したときにどう感じるかが気になったので、調査しました。

2. 研究の過程

(1) 外国にももったいないという言葉があるのか調べた結果、wasteful と too good がそれにあたることがわかった。しかし、wasteful は無駄だ、too good は物事や身分が限度や標準を超えて、それ以上であることを意味するので、食べ物を残した時のもったいないは wasteful だとわかった。

(2) ここで、ぼくは外国人ももったいないに近い感情（無駄だ）を感じるが、宗教や文化の違いから、理由は様々なものになると仮説をたてた。

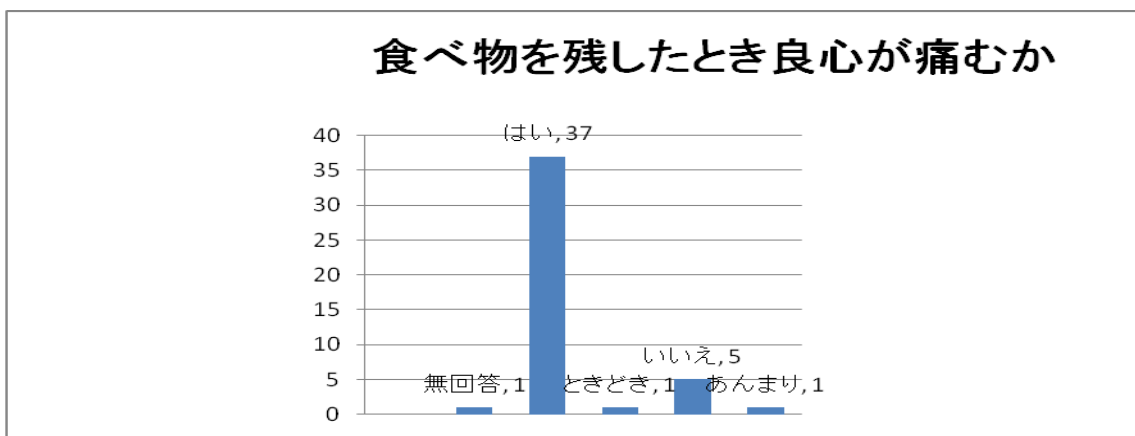
ex) 神様を信じる人達→食べ物を残すのは神様に失礼

(3) JR京都駅、メリック日本語学校の外国人の人達にアンケートを行った。

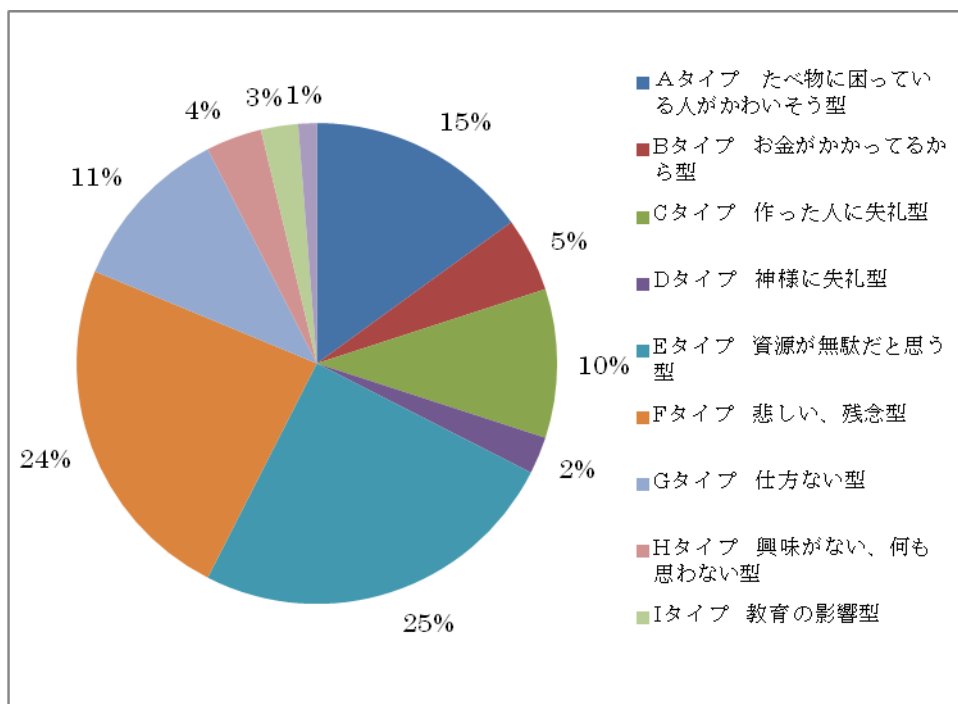
アンケート内容：

- ① 国籍、宗教
- ② 食べ物を残したときに良心が痛むかどうか
- ③ その理由

②の結果



③の結果



(4) 結果

アンケート結果から、一番多かったのが資源が無駄だと思うEタイプで、その次に悲しい、残念だと思うFタイプ、そして三番目が食べ物に困っている人がかわいそうだと思うAタイプでした。仮説と違って、宗教による違いはあまり見られなかった。

(5) 考察

外国人も食べ物を残すことを良くないことだと認識していて、そう感じる理由は日本人とあまりかわらないことがわかった。

3. 感想

ヨーロッパ圏の人にもアンケートをもっととりたかったが、あまり数を確保できなかった。なので次はヨーロッパ圏の人にもアンケートをとりたい。

4. 参考文献ならびに参考Webページ

<http://ejje.weblio.jp/content/%E3%82%82%E3%81%A3%E3%81%9F%E3%81%84%E3%81%AA%E3%81%84>